

## みなさまの声を県政に

# とみ た あき お 富田昭雄

愛知県議会議員

**秋**も深まり、朝晩がめっきり肌寒くなりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。お陰様で議会に復帰し元気に飛び回っています。また、日頃からのご支援に心から感謝申し上げます。

さて、9月議会では、私も一般質問をさせていただき、災害・減災について、高齢化への対策「地域包括ケアシステム」の構築について、巨大公共事業「長良川河口堰」について、様々な角度から県の取り組む姿勢を質しました。また文教委員会において、私立高校の入学者数が6年連続で募集定員に対し2000人以上下回っている事について、その対策を求めました。

国会では、安保関連法案が国民の理解が得られないまま強引に可決されました。その審議の中で、集団的自衛権の行使を認める「新三要件」は曖昧で、十分に歯止めにならないことも分かってきました。これからが肝心です。

今後とも、地方から声をあげながら、地域の様々な課題に取り組んでまいりますので、ご指導よろしくお祈りします。

## 民主党県議団が知事に提言 来年度予算編成で実現求める

10月14日、9月定例県議会の閉会日に、「安心して働き生活できる魅力ある愛知」に向け、大村知事に平成28年度予算への反映を求め、41項目にわたる提言を民主党県議団として行いました。

今回の知事への提言は、今年4月の県議会議員選挙で県民皆様にお示した地域づくりを目指したローカルマニフェスト「2015 政策集 MAP48」の政策を基調としつつ、さらに政策を磨き上げ来年度の当初から実行すべき政策をまとめたものです。

県経済は、緩やかな回復基調にあると言われております。しかし、県が示した来年度から4年間の財政中期試算では、毎年一千億円を越す収支不足の見通しとなっています。そして、社会保障費の増大や国の税制改正の動向、県有施設・インフラの維持・更新コストなど、さらに収支不足が拡大することも想定されます。限られた財源の中で、何を優先させ、何を整理し、その判断のために何を準備しておくべきか、賢明な判断が求められます。

南海トラフ地震など自然災害から命と生活を守る防災・減災対策や、人口減少社会による社会構造の変化への対応など最重要課題に迅速に対応し、県民皆様の「声」が形になる施策実現に、32名の団員総力で取り組みを進めてまいります。



▲9月定例県議会にて一般質問をする富田昭雄

## 防災・減災の視点から 三の丸地区の整備を！ 地域包括ケアシステムの構築と 長良川河口堰の検証を求める

今、東京に直下型の大地震が発生した場合、首都機能の代替地として、愛知県の三の丸地区の整備をすることを提起。これに対して防災局長は、国、県、市で連携して三の丸地区の整備を進めると共に、中部広域防災拠点ワーキンググループを通じて、首都機能のバックアップ等の大きな視点からの検討についての議論を進めたいと答弁。また、地域防災力の底上げをするために、大学と連携して、防災・減災の共同研究や人材育成を強化していくことを確認しました。

次に「地域包括ケア」について、超高齢化や人口減少社会の中でまちづくりの重点施策である「地域包括ケア」は、介護、医療、生活支援、住まい、予防の5つの視点から包括的に見守っていく体制づくりです。県として推進室を設置して取り組みを強化します。推進するにあたって、市町村での課題を県が調整しながらサポートしていくと答弁。長良川河口堰については、使われていない水についても維持管理費を払っていることについて聞きました。今後は、様々な視点から検証するために、開門を国に求めていくことを確認しました。

## 県民の命と雇用を守る県政を

愛知県議会9月定例議会は、9月17日～10月14日に開かれ、総額83億3,700万円余の補正予算案、条例の制定及び改廃案、人事案件など28議案を審議可決させ、「難病対策の充実について」他6件の意見書を採択し国関係機関に提出しました。また今議会では、平成26年度一般会計・特別会計決算特別委員及び公営企業会計決算特別委員が選任され、それぞれの決算の審議が始まりました。

補正予算には、来年5月の伊勢志摩サミットへ向けての警備対策費、県内での大規模展示場整備のための検討費、団塊の世代が後期高齢者となる平成37年に向けて介護人材の確保や施設整備費、女性の活躍促進・雇用促進を目指すあいちウーマノミックスの推進費などの他に、交通事故対策費や農林水産物のブランド力強化費が含まれています。

なお、来年4月施行の障害者差別解消法に合わせた愛知県障害者差別解消推進条例案は、障害者団体等からの意見聴取を経て、12月議会に提案される予定です。



▲9月定例県議会にて県の姿勢を質する富田昭雄

■編集／発行

**富田昭雄事務所**

〒465-0025  
 名古屋市名東区上社一丁目703 明和ビル  
 TEL 052-760-2299 FAX 052-777-2864

編集発行人  
**服部 正一**

企画・編集  
**堅田 ひとみ**

アートディレクション・デザイン  
**吉田 留美子**

取材  
**辻 愛子**

## 世直し富吉コラム

### 観光立国を考える おもてなし日本「観光立国」への挑戦 雇用創出40万人

訪日外国人が過去最高ペースで増加しています。東日本大震災に大きく減った訪日外国人の数は順調に回復し、昨年が過去最高の1341万人に達しました。今年も前年同時期比46%増の914万人と、記録を更新。夢物語と思われた2000万人が視野に入ってくる勢いです。

訪日外国人が大幅に増えた要因は、円安で日本への旅行や買い物に割安感ができたことです。制度面でも、アジア諸国へのビザ発給要件の緩和や消費税免税の対象拡大で日本での買い物が魅力を増し、経済成長でアジアの海外の旅行需要が拡大した影響もあります。訪日外国人はどこから来ているのでしょうか。今年の上半期の国別・地域別シェアの上位は、

1位中国、2位韓国、3位台湾、4位香港と、いずれもアジアです。4カ国・地域で7割を超えます。昨年3位だった中国がトップに躍り出ています。中国人観光客による「爆買い」が話題になっていますが、昨年の外国人訪日客による消費は2兆278億円です。日本の定住人口一人あたりの年間消費額が124万であることから、外国人観光客10人で、定住日本人が一人減った分をカバーできる計算になります。近年少子高齢化が進み、消費が縮小していく日本にとって、観光はなくてはならない産業です。しかし、日本は各国に比べ出遅れています。外国人旅行者の受入数は世界22位です。「おもてなし」を軸に観光立国を目指すのは幻想にすぎません。

課題は山積みで、ホテルなど宿泊施設の絶対数が足りません。また、多言語ガイド端末やガイドブックなどの外国人に分かりやすく説明する設備がまだまだ不十分です。観光大国になるには、観光支出の多い先進国からの旅行者を増やす手立てと受け入れ体制を整えることが必要になってきます。本腰を入れなければなりません。

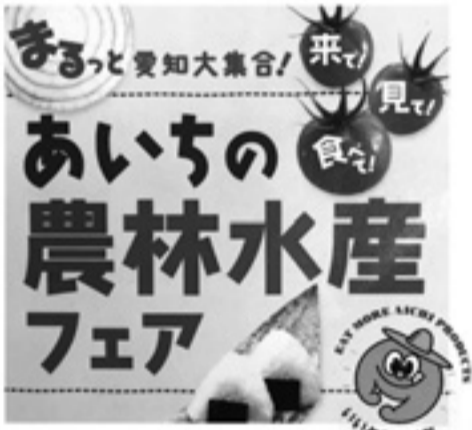
#### ■外国人観光客数

1位	フランス	8370万人	11位	香港	2777万人
2位	米国	7475万人	14位	タイ	2477万人
3位	スペイン	6499万人	19位	マカオ	1456万人
4位	中国	5562万人	20位	韓国	1420万人
6位	トルコ	3981万人	22位	日本	1341万人

日本政府観光局調べ 2014年

## 県・市政トピックス

### 「あいちの農林水産フェア」を開催!



愛知県の新鮮で、安全・安心な農林水産物との加工品を広く紹介し、県民の皆さんに県産品を進んで消費・利用して頂くためにフェアを開催します。奮ってご参加ください!

- ◆日時:平成27年11月12日(木) 午前10時~午後7時(最終日5時30分)
- ◆会場:丸栄8階大催事場(メイン会場)
- ◆サテライト会場:久屋大通公園「もちの木広場」(14日(土)午前11時~午後4時/15日(土)は午前10時より)

### 愛知県が「国家戦略特別区域」の指定を受けました。

愛知県では、いわゆる岩盤規制全般に突破口を開き産業の国家競争力の強化及び経済活動の拠点の形成の施策を総合的かつ集中的に推進するために、『国家戦略特別区域』の指定を受けました。今回、国に認定された区域計画の主な内容は、

1.有料道路管理の民間開放(有料道路コンセッション:日本初)／県道路公社が管理する有料道路8路線について、特区制度を活用し、民

間事業による運営を可能とする有料道路コンセッションを推進します。今回指定を受けたのは、知多半島道路・知多横断道路・中部国際空港連絡道路・南知多道路・衣浦トンネル・衣浦豊田道路・猿投グリーンロード・名古屋瀬戸道路です。

2.農業の所得向上と成長産業化／生産から加工までを担う6次産業化を後押しするため、常滑市内において農地でレストラン経営を認めるほか、農地売買の許可を農業委員会から常滑市長に移し、農地の集約化を図ります。

3.高度な先進医療の提供／アメリカなどの先進国において承認を受けている医薬品等であって、日本において未承認の医薬品等又先進医療を提供できるようにします。

### 障害者差別解消条例、12月県議会で成立を! 実効性ある条例へ民主党が全力



▲元内閣府障害者制度改革推進室長の東俊裕さん

障害者差別解消法が来年4月に施行されるのに合わせ、愛知県でも障害者差別解消条例を作ろうという動きが現実味を帯びてきました。これは、民主党政権下で大きく前進した「障害者権利条約」に基づく一連の障害者制度改革の一環で、愛知県議会では2009年から2010年にかけて、民主党県議団が幅広いヒアリングや調査を重ねて条例制定を目指してきたものです。

愛知県の障害者団体も、2008年8月に愛知障害フォーラム(ADF:27団体が加盟)を結成して県に条例制定を要望し続けてきました。ADFは9月12日、名古屋市北区役所講堂で集会を開き、元内閣府障害者制度改革推進室長の東俊裕さんの講演を聞いて、県条例制定の意義を確認。障害者差別解消法は、障害があってもなくても、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目的とするもので、障害者への差別を生んでいる『社会的障壁』をなくすための「合理的配慮」を、国・地方公共団体や民間事業者(努力義務)に義務づけたことが最大の特長。具体的な差別事案の解決のために、障害者差別解消地域支援協議会を設置して、相談や調停・斡旋にあたります。県が起案した条例案は、この法の仕組みを基本的に踏襲していますが、啓発のための理念条例に留まるか、実効性のある差別解消の仕組みを盛り込めるかが焦点となります。

### 名東区「子育て応援交流会」を開催

子どもが発達するってどういうこと?一生懸命教えているのに何故できないの?子育て中はどうしていいか、わからないことだらけですね。経験に基づいた楽しいお話を聞いて、ママ・パパ業のリフレッシュをしてみませんか。どなたでも参加できます。

- ◆講師:日本福祉大学 教授 近藤直子氏
- ◆日時:平成27年11月27日(金) 午前10時~12時(開場9時30分)
- ◆場所:名東区役所講堂
- ※定員:先着100名程度、参加費は無料です。申し込みは10月30日まで。名東区役所民生子ども課まで ☎ 778-3044 FAX 774-2781

## 無料相談

11月21日(土)  
12月19日(土)

両日共にAM10:00よりPM5:00まで  
●無料相談会のお問い合わせ 予約先は 富田昭雄事務所まで  
TEL(052)760-2299  
FAX(052)777-2864

## Tomikichi/Calendar



7月19日(日)  
春風亭柳橋師匠が伏見長円寺会館で寄席に出られるので、後援会の皆さんと応援に行きました。



7月24日(金)  
毎年うかがっている宗次ホールでのクラシックコンサート、今年もステキな演奏でした。



8月18日(火)  
恒例のメイトピアの盆踊り大会は、17日は雨のため中止でした。そのためか物凄い人でにぎわいました、皆さん楽しそうに踊っていました。



8月24日(火)  
後援会「一期一会の会」の8月例会は、恒例のピアパーティー。フラダンスとハワイアンの上り下り入りで盛り上げました。



9月10日(木)  
愛・地球クラブの後援会のみなさんと、トヨタ元町工場とキューピーの工場を社会見学しました。

## 第16回 富吉ボーリング大会

日頃の運動不足を解消しませんか  
12月3日(木)  
19:00~20:30  
会場/星が丘ボウル  
会費/3,300円  
●申込み締切/11月26日(木)

## 富田昭雄と行く 初詣 氣比神宮と多賀大社

一年の祈願を込めて...  
平成28年 1月16日(土)  
●費用/大人7,800円 小人6,500円 (お子様ランチ)  
●申込み締切/12月8日(木)

## 富吉感動! 「愛・地球クラブ」

習字教室 ウォーキング同好会 毎月開催中。  
生涯現役・生き甲斐づくりをする集まりです。気軽にご参加ください。  
●年会費/1,000円